

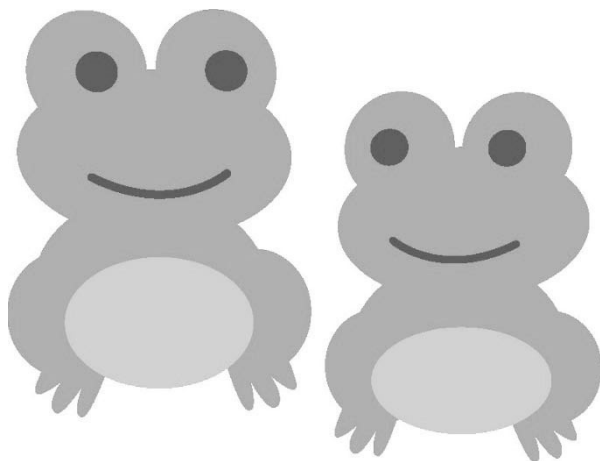
総合科学部で輝いている人

行動科学プログラム

鈴木裕太さん（3年）

総合科学プログラム

小林美月さん（2年）





行動科学プログラム

鈴木裕太さん



◇ 現在、学生生活で頑張っておられることはありますか？

今頑張っていることは、自分が1年ほど前からカフェをオープンすることを進めていて、そのための準備ですね。例えば、そのカフェで出す料理を考えたり、どこでどの材料を調達するかを考えたり、どういう客層をメインにするのかなどですね。以前で言うと、1年生のころからインドの教育支援事業に携わってきました。その結果、色々な人と交流することができ、そこからカフェの話にもつながりました。今でも半年に1度は教育支援事業に参加しています。様々なことに挑戦したいので、もみじを活用して面白そうなものを見つけたら参加するようにしています。

◇ カフェをオープンされると伺ったのですが、そのきっかけは何ですか？

二つあって、一つ目のきっかけは、自分が「OPERATIONつながり」という団体でのインドの教育支援事業に携わった際になりました。活動の一環で、複数の国際協力団体が集って行われるイベントが東京で開催されて、それに参加した時のことです。そこで、大学生がやっているカフェに友達と寄ったのですが、大学生が飲食店をやるなんて無理だという先入観が一掃されたのです。そのカフェは思ったよりもちゃんとしていて、かつこいいなと思ったのがきっかけですね。二つ目は、二年生のころにある建築会社の社長さんが、学生に町をもっと盛り上げてほしいということで使っていない建物を貸し出してくださいという話が来たことがきっかけですね。



◇ カフェの準備などで大変なことはありますか？

自分は4月から一年間カフェに専念しますが、他のメンバーは色々な優先順位があり、カフェだけに専念するのは難しく、モチベーションを保つのが大変ですね。メンバーを増やそうと募集をかけても大変なことなのでなかなか集まらないし、メンバーを増やせば増やすほどそれぞれのコミユニケーションをとるのも難しいですね。また、色々なことがはじめてなことばかりで接客や名刺の渡し方まで一から習い、怒られながら進めていくのも大変ですね。

◇ カフェへのこだわりやコンセプトなど
はありますか？

ざっくり言うと、

東広島を盛り上げ



ることです。客層も地域の人をメインにし、

カフェで出す料理の材料も東広島で採れたものを使いたいと考えています。また、メンバーの中で、子供たちが自由に遊べる場所が少ないと意見が上がったので、子供たちをターゲットにした色々なイベントをやりたいと考えています。そのためにはまず、主婦に来てもらわなければいけないので、昼間は主婦をターゲットにしたいと思っています。夜は社会人と学生が交流できる場所になればいいなと思っていますね。とにかく、東広島に焦点を当てたイベントをやりたいです。あと、学生の「東広島は何もない」という考えを変えるために盛り上げていきたいし、学生にとって大学という四年間だけではなくもう一度戻ってこられるような街にしたいというのもコンセプトです。

◇ カフェの準備やインドへ渡ったことなど楽しかったりやりがいを感じたりし

たことはありますか？

これらの経験を通して、自分は成長したんだと気づいた瞬間が一番楽しいです。例えば、インドに行って初めのころは英語が全く話せなくて、会話

を取る事ができなかったのですが、何度もインドに行くうちに、だんだんと英語ができるようになったなど実感した時とかですね。また、インドに行ったりカフェの活動をしたりしていて、色々な人に会うチャンスがあつて、面白い人に出会うと、この活動をしていてよかったと思えます。

◇ これからやりたいことは何ですか？

将来の夢がまだ無いですね(笑) 今まで頑張ってきたことの延長線上のことができ





ればいいなと考えています。カフェの経営を通して考えていることは、地域の人の向けた活動を行うことです。あと、インターネットを使って東広島の面白い人を紹介していくということもやりたいです。そして、そこで紹介した人に会うことができるといような仕組みを作っていきたいと考えています。あとは、海外に行ったときに日本のことを聞かれても答えられなかったのもっと日本のことを知りたいと思い、日本を旅したいって思っていました。まだ実行には至っていません(笑)でも、今は東広島で変わったことをしている人に会って話を聞きたいなと思っています。

◇ **総合科学部の学生に一言!**

総合科学部って、学業でもそれ以外でもやりたいことをなんでもできる環境、挑戦できる環境だと思います。みなさんも自分の興味や好奇心に素直になってやりたいこ

とをどんどんやっていってください。やりたいこと、誰かに伝えたい(発表したい)ことがあればご連絡ください。それを叶えられるように頑張ります。一緒に面白いことしましょう。〇〇している人に会いたい!ということがあれば全力で対応します。学生と地域、学生と社会をつなぐ場所作りを進めていきます!みなでもおもしろい町を作っていきましょう。



新着情報は「こちらから!」

Facebook

<https://www.facebook.com/cocage.org>

(カフェこかげ で検索!)

HP

<http://cocage.org/>

Twitter

@cocage_org

連絡先

ytszk@cocage.org (鈴木裕太)

【担当】

26生 尾関 寛之

26生 石原 佳奈

26生 岡田 菜緒



総合科学プログラム

小林美月さん



◇ 何について勉強しているのですか？

自然環境について勉強しています。

◇ 自然環境プログラム、または自分のためにどんな活動をしていますか？

「自分が好きなこと」を一生懸命やれば、全て自分の勉強のためになる気がします。私は現在、福富町の小学校にて、広島大学の学生と地域が連携してアイガモ農法を行なうという企画を作っています。小学校で伝統的に行われてきたその農法の運営が、地域住民の高齢化などによって傾いているという現状があります。そこに私たち学生が関わることで、アイガモ農法事業を継承・拡大し、更に地域活性もできるのではないかと考えています。

◇ これからやりたいことは何ですか？

総合科学部には文系で入っているので、理系の分野に文系的なアプローチをしたいというのが今考えていることです。まさに総科です（笑）例えば、この便利な

生活を、私たち人間は今更手放すことはできませんよね、でもこの生活をもっと発展させて、自然環境にやさしい生活を営むことは可能だと思っていますし、現に社会はそういった方針になっていますよね。法の整備や環境アセスメントや、より良いエネルギー発電の提案などが挙げられます。社会の中でそういった部分に関わっていきたいです。

◇ 旅行が好きなのですか？

ふらっとどっかに出かけるのは好きです！静岡出身だから、関西圏は全然旅行したことがないので、とっっても新鮮です。特に中国地方は、尾道や倉敷などが、今まで知らなかった素敵な場所がたくさんあって、楽しいです。広島市内も静岡の街





とは全然違って、散歩していて面白いと思います。大学生になってから海外にも行く機会が結構ある分、大学生活を満喫しています。1年生の夏休みにはSTARプログラムでインドネシアへ行き、また理学部のプログラムでマレーシアに行きました。

◇ 行ってみたいところはありますか？

生物生産学部のプロ
グラムで、2週間後にオ
ーストラリアに行きま
す。国立公園に行き、水
質環境のことについて
学ぶことがメインです。
海外に行く際は、思いつ
きり楽しんで来ればい
いと思うけど、おなかを
壊した経験があるので気を付けてください
ね。インドネシアでの食事では清潔感を感じ
られたのですが、マレーシアでは大変で



した。お弁当は大きいバナナの葉っぱに包まれていて、それを開けてご飯をほぐすと中からハエが出てきたりすることもありました。それを森の中で手で食べていて、本当オランウータンみたいな生活でした(笑) 森や熱帯雨林が好きなので、そんな体験も含めてとても楽しめました。

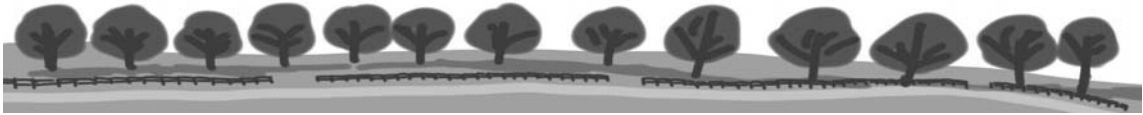
◇ NPOの団体での活動内容を教えてください。

インドの子供たちの教育支援をしています。現地に行かなくても、日本でやれる国際協力もあると考えていて、私自身、インドには行ったことがありません。国際協力をする中で、「日本にも困っている人はたくさんいるのに、アクセスしにくい海外に目を向けることは正しいのか」「しかし国際間の協力が必要であることには変わりない、遠い国の出来事に目を向けないのも良くないのでは」などと様々な葛藤が生まれます。

今はこれらの疑問に答えを出すことはできていません。しかし、インターンシップを通して、国際協力のプロの方やメンバーとの議論をする中で、自分なりの答えが見出せたらいいなと思っています。具体的には日本で資金を募り、インドの子供たちと日本の支援者との繋がりを作る活動をしています。

◇ グリーンドリンクスはどんな活動をしているのですか？

グリーンドリンクスは、西条の酒蔵で2か月に一回ほど、自然環境系のイベントを開催しています。研究者に講演をしてもらったり、東広島市の野菜を使って美酒鍋会をしたり。参加者は、西条のお酒を飲みながら夜まで語らいます。地域の方がたくさんいらっしやるので、社会人と関わる機会の少ない広大生も、ここに参加すると一晩でたくさんの方と話すことができます。



◇ **ということはお酒が好きなのですか？**

お酒は好きだけど飲めません（笑）お酒が好きなことよりも、地域の方々とお話するのがすごく楽しくてグリーンドリンクに参加していたのですが、素敵な活動だったので運営側に入れてもらいました。新しい人と出会うことで新しい発見があったりいろいろなチャンスが舞い込んで来たりするのが、とても楽しいです。グリーンドリンクの参加者の地域の方々は私にとって人生の先輩だから、彼らの考え方を学べますし、自分が将来どんな大人になりたいか考える機会にもなっています。いろいろな出会いがある場がすごく素敵だと感じています。

◇ **STARTプログラムに参加して得たことはありますか？**

まず外国に行けたことに関し



て自信ができました。あとインドネシア人の友達は何人かでき、今も連絡を取り続けている人もいたので、そういった人間関係の構築ができたことは利点ですね。また、広島大学に留学してきた子と一緒にボランティアで東北に行ったこともあります。外国人とのやりとりが増えて、自分の人生において大きな出会いだったということをよく実感しています。私自身、英語はあまり話せなくて、基本はフィーリングでやりとりをしていました。アジアでは訛りがあったて、英語が聞きづらかったですね。

◇ **飛翔の編集に携わってよかったことはなんですか？**

飛翔を通して多くの人に出会えたし、先輩の話聞く機会も多くありました。東京に行つてOBへインタビューしたり、総合科学部の40周年記念式典にも参加させていただいたり、自分の勉

強になる点が多いのは飛翔のいいところです。また、文章を書くことが得意になりました。毎日、朝日新聞の天声人語の書写したこともこれに繋がったと思います。個人的には、飛翔の規模が広くなればいなと考えています。今までは二世代つて決まっていたけど、三年生が一年生を育てて、その間二年生が好きなことをする三世代の飛翔みたいな構造にしてもいいのかもしれないね。他学部の人にも総科をもっと知ってほしいから、TwitterとかFacebookとかのアカウントを作ってみるのもいいかもしれません。飛翔改革を皆さんに託します。

◇ **総合科学部の学生に一言**

大学入学当初、私の中では、イベントや団体のリーダーなどといった大きなことをする大学生像が憧れでした。総合科学部に入ってみると、自分が描いていた大学生像そのものような先輩方がたくさんいまし



た。しかし、そのまま真似をしていてもその人にはなれないということに気づきました。その人の良い部分はきちんと掴みつつ、自分のオリジナリティーを加えて輝かせるべきだと思いました。大学にはすごい人がたくさんいます。是非、憧れるような存在に出会い、自分のオリジナリティーも模索してみてください。また、私も未だ出来切れていませんが、「自分探し」をすることも大切です。選択肢の多い総合科学部です、「みんなに合わせてしまう」ことで、自身を見失いそうになることもあります。だから、自分が何をやりたいのかを明確にすることが大切だと思いますね。

【担当】 26生 尾関 寛之

26生 石原 佳奈

26生 岡田 菜緒

